

令和6年度 学校評価アンケート

属性	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	
保護者=3 CS委員=2 教職員=1	41	50	37	30	37	37	42	30	30	33	39	37	45	39	38	
総合	68.8%	57	48	67	63	60	65	57	67	64	59	62	54	62	60	
	3.22	1.1	1.2	5	13	10	8	11	11	15	7	10	10	8	10	
	1	1	1	4	1	4	0	2	5	3	2	1	1	1	2	
	R6平均値	3.25	3.35	3.27	3.08	3.19	3.26	3.28	3.14	3.08	3.11	3.25	3.23	3.30	3.26	3.22
	R5平均値	3.21	3.09	3.31	3.08	3.15	3.31	3.18	3.14	3.16	3.10	3.11	3.18	3.22	3.27	3.22
保護者	31	36	27	21	26	27	28	25	24	22	30	25	33	27	27	
	70.7%	45	40	54	52	54	49	49	47	48	49	51	44	51	48	
	3.22	1	1	1	4	3	0	2	5	3	2	1	1	1	2	
	R6平均値	3.22	3.29	3.23	3.03	3.14	3.24	3.21	3.11	3.03	3.02	3.23	3.15	3.25	3.20	3.15
	R5平均値	3.26	3.13	3.26	3.09	3.12	3.26	3.14	3.09	3.11	3.03	3.02	3.12	3.18	3.21	3.17
	R4平均値	3.3	3.1	3.3	3.3	3.1	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
	R3平均値	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
学教運営協議委員会	9	5	2	3	1	2	6	1	1	3	3	3	3	3	3	
	64.3%	6	4	7	6	7	5	8	8	6	6	6	6	6	6	
	3.3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	R6平均値	3.33	3.56	3.22	3.33	3.00	3.11	3.67	3.11	3.11	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	
	R5平均値	3.33	3.09	3.27	3.20	3.20	3.36	3.00	3.20	3.18	3.30	3.20	3.00	3.20	3.09	
教職員	14	7	9	8	10	8	8	4	5	8	6	9	9	9	8	
	60.9%	6	5	6	5	3	5	10	9	5	7	5	6	5	6	
	3.43	1	1	0	3	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	
	R6平均値	3.43	3.57	3.57	3.21	3.64	3.50	3.50	3.29	3.36	3.50	3.36	3.57	3.64	3.57	
	R5平均値	2.96	2.91	3.57	2.96	3.22	3.52	3.39	3.30	3.35	3.30	3.39	3.39	3.48	3.57	3.48
	R4平均値	3.1	2.9	3.4	3.1	3.1	3.4	3.1	3.1	3.3	3.4	2.8	3.4	3.4	3.3	3.4
	R3平均値	3.5	3.3	3.2	3.1	3.1	3.5	3.4	3.0	3.0	3.3	3.0	3.3	3.5	3.3	3.4

自由記述欄	概要	課題解決に向けて
スクール・ミッション、スクール・ポリシー等について	学校への評価は概ね良好で、特に地域との連携や生徒の主体性を育む取り組みが評価されています。一方で、進路指導、特に総合型選抜や推薦入試に関する具体的な取り組みについての情報を求める声も複数ありました。	※詳細をQ1～15に記載
Q1	学校ホームページの「枝の風」の令和6年度分の掲載漏れや、SNS活用に関する意見が複数寄せられています。特に、Instagramの利用を始めることや、ホームページの更新頻度向上のためのシステム構築が提案されています。広報活動の多角化と、より効果的な情報発信の必要性が示唆されています。	現在、各道立学校において「note」を導入し、情報発信の充実が求められていることから、学校HP・Facebook・noteを組み合わせた情報発信や広報活動について、教員によるプロジェクトベースで推進します。
Q2	教職員一同、保護者の皆様の学校行事等への参加、協力を感謝しています。しかし、授業公開や進路説明会への参加率が低く、改善したいと考えています。保護者の皆様が学校行事へ参加しやすい環境づくりが課題です。	授業公開や進路説明会等、保護者の方々に参加・協力いただきたい学校行事について、事前にスケジュールをお知らせするなど工夫を継続し、生徒・保護者・地域と共にある学校を目指します。
Q3	保護者が生徒の学習活動全般を評価するための情報が不足していると感じています。地域での学び以外の、普段の学習活動に関する評価の判断材料を増やすために、授業見学をもっと充実させたいという要望が述べられています。	Q1、Q2をご参照ください。
Q4	教員は、単元テストの重要性を生徒に十分に理解させられていないと感じています。定期テストのように学校全体で対策できる雰囲気づくりが難しく、生徒の自主的な学習に委ねざるを得ない状況や、家庭学習習慣が十分でない生徒が多いことが課題です。一方、定期的な小テストの実施は、生徒の学習意欲向上に繋がったと考えています。少数ですが、保護者の方からは中間テストがあったほうが良い声も寄せられました。	定期テストの一定の成果を理解した上で、本校は令和7年度から定期テストは学期末のみ(1・2年は前期末と後期末の2回、3学年は前期末の1回)とし、小テストや単元テスト、パフォーマンステストやレポート等多様な評価により、学習習慣の形成と基礎学力の向上を目指します。
Q5	ホームページやFacebookの情報だけでは、生徒の学習状況や指導状況の把握が難しい声が寄せられました。すべての生徒への指導状況を把握できるような仕組みが求められています。	各学年、各分掌から発信される情報について、内容と機会の充実を目指します。
Q6	保護者の方から、登校できない際のオンライン授業の充実の声が寄せられています。枝幸高校のICT設備は充実しており、教員はさらに新たな知識や技術を学び、より良い教育環境の実現を目指そうとしています。	google classroomや枝幸町支援による教育系アプリを導入・活用し、雪害や感染症拡大防止時等を含め、引き続きオンライン授業の機会充実と授業改善に努めます。
Q7	授業公開においては、生物基礎の授業にメグミルク社員を招いたことも、新しい試みとして挙げられます。	引き続き、外部講師を招聘し、生徒の学び意欲を高める魅力ある授業に努めます。
Q8	教員は、教員間の指導のばらつきをなくし、一貫した指導を行うことが重要だと考えています。	引き続き、本校が育てたい人物像を目指し、対話を通じて一人一人の生徒の成長を支援します。
Q9	特記事項はありませんでした。	Q8をご参照ください。
Q10	保護者の方から見て、学校にはいじめがあると感じる声が寄せられました。	本校では、定期的にいじめアンケートを実施すると共に、HR担任や教科担任、養護教諭、部活動顧問等、多様な視点と関わりの中でいじめ見逃しゼロを目指し、一人一人の生徒と向き合っています。冬季休業前に発出した生徒指導部通信でも記載したとおり、今年度1件のいじめを認知し、対応しているところですが、引き続き、生徒が安心して登校できる学校づくりを目指します。
Q11	保護者の方から、部活動顧問の先生の対応や連絡不足、部員とのより密なコミュニケーションへの期待の声が寄せられました。また、教員からは、部員数が少ないため、活動の幅が狭まっているという現状と生徒の活動機会の創出の重要性の声が挙がっています。	ご指摘いただいた点については、保護者の方や生徒の声に真摯に耳を傾け、教員と生徒との対話の機会を増やすことにより、改善します。
Q12	教員は、進路に関する学校行事が充実していると感じています。	引き続き、生徒の進路希望の実現に向けた多様な学習機会の充実を努めます。
Q13	教員は、志望理由書などの作成指導に関しては、2年生から準備を開始し、学年と進路指導部が連携してサポートしていくべきだと考えています。また、大学受験の個人指導については、引き続き教科指導だけでなく、面接指導も充実させたいと考えています。	Q12をご参照ください。
Q14	特記事項はありませんでした。	Q12をご参照ください。
Q15	進路に関する学校行事は充実していると感じますが、2年生の保護者の方からは、(回答時点において)3者面談がまだ一度も実施されていない点について憂慮する声が寄せられています。また、教員は、進路行事の振り返りや個別のフィードバックの機会を充実させたいと考えています。	第2学年においては、1月から三者面談を実施しています。次年度は、年度当初に3者面談の実施スケジュールを示し、生徒の進路希望の実現に向けた保護者の方々との連携を密にする。
その他、教育活動全般について	部活動については、顧問の先生の熱心な指導に感謝しつつも、生徒の意見をもっと聞いてほしいという要望が寄せられています。学習面では、子供の成績が上がったことに対し、学校の指導に感謝する声が多く聞かれます。進路指導については、子供のレベルに合った大学進学目標が欲しいという要望や、進路指導の先生との相談を希望する声が出ています。教員の働き方については、比較的働きやすい環境であるという意見が多く、生徒のために貢献したいという意欲が感じられます。全体として、学校への評価は概ね良好ですが、部活動における生徒の意見反映や、進路指導のさらなる充実が求められています。	※詳細をQ1～15に記載